

# 福祉功労者表彰

多年にわたり、社会福祉の発展に功績のあった方が表彰されました。長年のご苦勞に心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。なお、本市関係者の受賞者は次のとおりです。(敬称略・順不同)

## 全国社会福祉協議会会長表彰

《民生委員・児童委員功勞》  
・辻井 照雄

## 千葉県知事表彰 社会福祉事業功勞者

《民生委員・児童委員》  
・三浦 雅子 ・川上 孝江 ・松本 一男

## 千葉県社会福祉協議会会長表彰

《民生委員・児童委員》  
・藤谷 容子 ・竹内 秋子 ・清水 京子  
・横須賀 正子 ・三輪 いね子 ・高橋 久男

《社会福祉施設・団体関係役員功勞》  
・社会福祉法人昭和村市原園デイサービスセンター 佐久間 富子  
・ふる里学舎蔵波 並木 傑 ・ふる里学舎和田浦 嶋田 圭  
・姉崎認定こども園 三橋 彩子 ・鶴舞保育所 内山 絵美  
・姉崎認定子ども園 時田 裕子  
・社会福祉法人市原市社会福祉協議会 武部 麻未



## 千葉県社会福祉協議会会長感謝状

### 《各種基金等寄付者》

- ・株式会社上野工業所
- ・株式会社鶴商メンテナンス工業
- ・山十道路株式会社
- ・新千葉建設株式会社
- ・日本データマテリアル株式会社
- ・有限会社常陽機設
- ・株式会社ナガタ
- ・アヅマホールディングス株式会社
- ・協友工業株式会社
- ・大栄技工株式会社

## 令和7年度傾聴ボランティア養成講座の開催

### 傾聴ボランティア養成講座受講者募集 ~聴き上手になるために~

〈日 時〉 5月11日(日)・18日(日)・25日(日) 13:30~16:15  
 〈会 場〉 市原市社会福祉協議会 3階会議室  
 〈対 象 者〉 傾聴ボランティア活動に興味のある方(3日間受講できる方)  
 〈定 員〉 先着40名  
 〈内 容〉 傾聴についての講義及び演習他  
 〈講 師〉 公認心理師 田邊 昭雄氏  
 〈参加費〉 無 料  
 〈申込方法〉 4月30日(水)までに電話・FAX・メールにてお申込みください。  
 なお、申込は先着順とし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

〈申込み・問合せ先〉

ボランティアセンター  
 (受付時間 月~金曜日 8:30~17:15)  
 Tel : 0436-20-3100 Fax : 0436-22-3031  
 Email: VC@ichihara-shakyo.or.jp



## 令和7年度 成年後見制度専門相談

成年後見制度について弁護士による専門相談を行います。既に、親族の後見人等を受任している方のご相談もお受けします。

場 所	開 催 日	時 間
市原市成年後見支援センター (市原市南国分寺台 4-1-4)	4月17日(木) 5月22日(木) 6月19日(木)	13:30 ↓ 16:30
	7月24日(木) 8月21日(木) 9月18日(木)	
	10月23日(木) 11月20日(木) 12月18日(木)	
	1月22日(木) 2月19日(木) 3月19日(木)	
	6月25日(水) 10月29日(水)	
なのはな館 (市原市牛久 377-1)		



- 匿名(光風台) ..... 60,000円
- 匿名(若 宮) ..... 24,200円
- 千葉よみうりカントリークラブ ..... 109,700円
- JNC 石油化学(株) ..... 71,580円
- 匿名(草刈) ..... 1,000,000円
- 住友化学労働組合 千葉支部 ..... 40,000円
- 千葉積水労働組合 ..... 90,000円
- 明治安田生命 千葉南支社・市原北営業所 ..... 雑巾 252枚
- AGC 株式会社 ..... テレフォンカード 50枚 度数 10枚
- 千葉工場 QUO カード 2,000円 23枚 (順不同・敬称略)

社協だよりは、5月・9月・3月の年3回発行(町会回覧・新聞折込)されます。

No.250

# いちばら 社協だより

2025  
3月号



よつばちゃん

社協だよりは、町会長の皆さまにご協力いただき、町会回覧にて配布しています。

【発行】市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436(24)0011 FAX.0436(22)3031

E-mail. info@ichihara-shakyo.or.jp http://www.ichihara-shakyo.or.jp/



## わたしたちのまちをよくするしくみ 共同募金にご協力いただきありがとうございました

### 赤い羽根共同募金運動 (10月1日~3月31日)



千葉県共同募金会  
マスコットキャラクター  
「びわびよ」

「共同募金の70%は、私たちのまちを良くするために使われています。」

集まった募金の約70%は、募金をいただいた地域で使われています。残りの30%は、千葉県共同募金会において、市区町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に使われるほか、大規模な災害が起こった際に備え「災害準備金」として積み立てられています。

市原市社会福祉協議会に配分された募金については、地区社会福祉協議会の活動や福祉団体の育成、ボランティア団体の支援など様々な事業で活用しています。

令和6年度 赤い羽根共同募金 (令和7年2月末現在) 総額 8,266,438円

### 歳末たすけあい運動 (12月1日~12月31日)

市原市社会福祉協議会では「歳末たすけあい運動」の一環として、地域で暮らす誰もが安心して新たな年を迎えることができるよう、先駆的・開拓的な実践事業を行う民間団体・組織の取り組みを推進することを目的に「地域福祉支援事業」を実施しています。

また歳末たすけあい運動への協力として、地域住民や福祉団体の関係機関等の協力のもと、歳末たすけあい募金、街頭募金、福祉バザー等を実施しました。なお、残額については、翌年の一般配分金として、地域福祉活動に還元されています。

令和6年度 歳末たすけあい募金実績  
(令和7年2月末現在) 総額 2,292,589円

令和6年度 地域福祉支援事業  
(40団体) 総額 2,275,000円

イベントを通じて世代間交流を行う「交流型事業」と、草刈り支援や戸別訪問を通じた見守りなどを行う「個別支援型事業」を、地域住民の皆様のご理解・ご協力を得て実施しました。

令和6年度 福祉バザー等実績  
(7地区) 総額 2,022,074円

## みんなの想いを届ける 赤十字活動資金へのご協力ありがとうございました。

日本赤十字社は、国内の災害時の救護をはじめ、国外の紛争・自然災害の被害者に対する緊急援護活動などの様々な人道的活動を行っており、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

市原市地区 令和6年度 日赤社資報告	
一般社資(町会・自治会を通じてのご協力)	9,868,779円
法人社資(奉仕団・事務局を通じてのご協力)	1,589,198円
総 額	11,457,977円



日本赤十字社キャラクター  
ハートラちゃん

# 生活のちょっとした困りごとに！ 「日常生活支援事業」 ～住民相互の支え合い～

## 日常生活支援事業とは

公的制度や民間サービスで補えない地域住民の日常生活上のちょっとした困りごと(家事・買物の代行など)に対し、住民同士がお互いさまの感覚で支え合う活動です。

### 加茂地区【日常生活支援事業 草刈り助け合い活動事業】

対象者	75歳以上の高齢者世帯、身体の不自由な方の世帯
支援内容	住居庭の草刈り、草取り (作業者の安全上やトラブル防止の観点から、植木の剪定、樹木の伐採は実施しない)
利用料金	基本料金1,000円(年間) 作業回数1回につき、200円～250円 ※お住いの地区により異なります
問い合わせ	加茂地区社会福祉協議会 日常生活支援事業 担当理事 TEL 090-3091-1720 (相川)

市原市では、加茂地区のほか市内7地区(姉崎、南総、辰巳台、市津、三和、有秋、ちはら台)で日常生活支援事業を実施しています。詳しくは各地区社協にお問い合わせください(前号参照)

## 日常生活支援事業担い手養成講座を開催しました！

令和7年3月3日(月)姉崎保健福祉センターで「日常生活支援事業担い手養成講座」を開催しました。

当日は「地域での支え合い活動について ～なぜ住民参加型在宅福祉サービスが必要なのか～」について学んだ後、活動者からの体験談や市内9地区の活動紹介、最後に交流ブースを設け「参加者」と「活動実施地区」がその場でマッチングを行い、希望者には活動登録をしていただきました。



## 災害への備え

### 災害ボランティアセンター設置運営訓練・福祉避難所開設訓練実施

令和7年2月11日(火・祝)市原市上総更級公園で「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を開催しました。当日は、災害ボランティアセンターと併せ、五井・国分寺台地区に大きな被害が発生したと想定し、現地本部となるサテライト災害ボランティアセンターを設置し、職員と共に災害支援活動に取り組む機関、団体、ボランティア、地元の地区社協の方々にもスタッフとして加わっていただき、センターの役割や流れの確認を行いました。

また、同日に姉崎保健福祉センターで「福祉避難所開設運営訓練」を開催しました。地区社協及び民生委員児童委員協議会の方々にスタッフ役、避難者役として訓練に参加していただき、市との連携や避難者の受入れ対応等の実際の開設を想定した訓練を実施しました。



災害ボランティアセンター設置運営訓練



福祉避難所開設運営訓練



## お互いさまの地域づくりを 目指してよつばちゃんの フードパントリー開催しました



令和6年11月23日(土)三和保健福祉センターで「令和6年度よつばちゃんのフードパントリー」を開催しました。

今年度は三和・南総・加茂地区社会福祉協議会と連携し、三和・南総・加茂地区を中心に市内で食料の提供を希望する子育て世帯を対象に三地区を中心とした住民や企業・商店などから寄付していただいた食品を配布しました。

市原市社会福祉協議会では、食品ロスの削減や誰でも気軽に参加できる食品の寄付というボランティア活動を通じて、地域で住民同士が支え合う「困ったときはお互いさまの地域づくり」を目指しています。

### 子ども食堂

- ・げんき食堂アネッサ(姉崎地区社協)⇒とん汁・ポップコーン
- ・地域食堂わいわい(千種地区社協)⇒チュロス
- ・地域食堂「コンパス」(国分寺台地区社協)⇒おしるこ
- ・こども食堂ごい51(五井地区社協)⇒フランクフルト

### 集まった食品について

1,973点 1,215.7キロ(日用品含む)

### 遊び場

- ・おもちゃ図書館「かるがも」
- ・いちはらシルバー友の会

### 参加者の声

- ・母子家庭で自分自身が持病持ちで仕事も休みがちになり、収入が限られてしまっている為、こういう機会はとても有り難く、助かります。
- ・たくさんのお土産ありがとうございました。食事もとても美味しく頂きお腹いっぱいになりました。
- ・皆さんに子どもを可愛がって頂きとても嬉しかったです。ありがとうございました。



## いちはら地域・子ども食堂ネットワーク研修会

令和6年12月8日(日)市原市姉崎保健福祉センターで「いちはら地域・子ども食堂ネットワーク研修会」を開催しました！今年度は、地域・子ども食堂に関心のある市民の皆さま65名に参加いただき、「地域・子ども食堂ってなあに？」をテーマに、千葉県子ども食堂連絡会の高橋代表に講演をいただきました。

また、「いちはら地域・子ども食堂ネットワーク」に加入している8団体から活動の紹介をしていただき、参加者に活動者の生の声を届けました。閉会後は希望者制にて、現在地域で活動している団体と一般参加者が直接話をする機会(マッチング交流会)を設けたことにより、子ども食堂に参加したい地域の方と活動者を繋げることができました！

### 《受講者の声》

- ・市内で活動されている団体の生の声が聞けて良かったです。
- ・大学で学んできたことを活かす場所を見つけられました！
- ・講演を聞いてボランティアとして参加したい気持ちが強くなった。



## 安心して暮らせる地域づくりのために 安心生活見守り支援事業 安心訪問員交流会開催！

令和7年1月21日、姉崎保健福祉センターで、安心生活見守り支援事業の安心訪問員交流会を開催しました。前半は、東京通信大学 人間福祉学部 准教授 小倉 常明氏より「地域の見守り活動を改めて考える」についてご講演いただき、見守り活動の役割や重要性を再認識することができました。後半のグループワークでは、安心訪問員として活動の中で心掛けていることなど意見交換をしながら、日頃の活動を振り返る機会となりました。

今後も高齢者の方などが孤立せず、地域で安心して暮らせるために、本事業の推進や連携を強化していきます。

### 安心生活見守り支援事業とは…

高齢者や障がい者で見守りを希望する方を対象に、安心訪問員が定期的な見守りや安否確認を行います。異変に気が付いた際には、関係機関につなぎ、適切な支援が受けられるようになっています。